

## 12年目を迎えた“奥州市立伊手小学校”の『森林・林業教室』

～ 未来の森林・林業を支える“担い手”を育成 ～

奥州市立伊手小学校（江刺区）で毎年開催している「森林・林業教室」は、同校の総合学習の一環として6年生児童を対象に年3回シリーズで開催しており、今年で12年目を迎えました。

同教室では、児童生徒に対し森林の大切さを伝えるとともに、同校学校林において森林整備の重要性を実体験させ、更に、間伐材の利用までに至る、林業の一連の流れを学習するプログラムで開催しています。

第1回目（H20.10.6開催）の教室は、  
①森林の果たす役割に関する座学から、  
②輪切りにした木を使った表札づくり（枝など貼り付け好きな文字を書く）  
③松ボックリやドングリを使ったアクセサリーづくり などを行いました。

【第1回教室】木工教室（表札づくり）



第2回目（H20.10.29開催）には、同校の学校林において、①樹木測定 ②間伐作業体験（見学）③急斜面を児童生徒

たちが力を合わせ、担ぎ棒を使って間伐材を搬出 ③その間伐材を地元製材所へ運び板材等に製材（製材工程の見学）などを実施したところです。

【第2回教室：学校林】みんなで間伐材を搬出！



第3回目（H20.11.下旬）は、2回目の教室で製材した間伐材を使って、生徒が自ら設計・デザインをした本箱・CDラックなどを、岩谷堂箆笥伝統工芸士を講師に迎え、板材の切断から製作まで、本格的な木製品づくりを予定しています。

2回目までを終了した生徒たちからは、  
■森林の大切さが理解できた。 ■丸太運びは大変だったが、楽しかった。 ■3回目の教室が楽しみです。などの感想をいただきました。いつまでも心に残る森林・林業教室となることでしょう！

最後に一言！何かと厳しい林業界ですが、近い将来、同校の卒業生たちが、明るい林業・美しい森林づくりの担い手になってくれることを期待します！